

群馬地区会だより

平成 30 年度群馬地区会定期総会・研修会に参加して



NHO 高崎総合医療センター

今井 佳子

令和元年 11 月 23 日（土）高崎総合医療センターにて平成 30 年度国臨協関信支部群馬地区会定期総会・研修会が開催されました。研修会講師に国立国際医療研究センター病院 中央検査部門 副臨床検査技師長 手塚俊介先生をお迎えし、「患者様・臨床側から信頼される検査室」と題してご講演いただきました。手塚先生は国臨協共同入札検査試薬標準化委員会委員を務められており、常用基準範囲を中心に基準範囲導入に関する決定事項や開始から現在までの活動内容についてお話いただきました。

また、私たち臨床検査技師が普段参考になっている基準範囲とはどのように設定されているのか、臨床診断値や診断閾値、治療閾値などの違いなど知っているようで十分理解出来ていなかったことについて資料を用いて説明していただき、理解を深めることが出来ました。臨床側からの要望に応えることで問い合わせ件数を減らし、検査結果の迅速化をもたらす効果など信頼される検査室になるためにはどのようにしたらよいのか今回の講演で考え学ぶことが出来ました。

群馬地区会教育講演講師には関東信越グループ医療担当 臨床検査専門職 北沢敏男先生をお迎えし、「伝達事項ならびに会員の皆様に向けて」と題してご講演いただきました。国立病院機構の職員として知っておくべきことや理念について、キャリアアップに

おける研修会開催予定など基本事項から今後の機構の未来についてユニークなお話も交えながら講演していただきました。特に人事異動やキャリアアップに関しては私自身今のうちに考え計画を立てていく上でとても参考になりました。専門職より直接お話しをいただける機会はなかなか無いので貴重な時間を過ごさせていただきました。

定期総会には国臨協関信支部から岩崎康治支部長と竹内智也理事をお迎えし、支部の活動内容や今後の日程などをお話いただきました。

総会・研修会後は懇親会が行われ、北沢専門職、岩崎支部長、竹内理事、手塚先生にもご参加いただきました。私は 4 月に群馬県にきたばかりで他施設の方と接する機会がなかったのですが、今回の懇親会で少しでも顔を知っていただき覚えていただけたらと思い参加しました。他施設の技師長、副技師長ともお話をすることができましたので、今後もこのような交流の場があれば是非参加したいと思いました。

最後になりますが、今回の定期総会・研修会を開催してくださいました群馬地区会役員の皆様とご多忙の中ご指導いただきました講師の先生方に深く感謝申し上げます。

